

第3回「日本の農業と食のシンポジウム」初日

自然農の役割 由井大会長、熱く語る

京都・西陣織会館で開催

第3回日本の農業と食のシンポジウムは3月15日、16日の2日間、京都の西陣織会館において盛大に開催された。今回からNPO法人元氣農業開発機構も主催者に加わった。シンポジウムは自然農を実践する農業生産法人日本豊受自然農の由井寅子代表が大会長を務められた。2日間のシンポジウムの概要を紹介する。今回はインターネットTVで中継された。

初日は由井大会長の挨拶の後、「ねずさんのひとりごと」で有名な小名木善行氏(日本の心を伝える会代表・国史研究会代表)が「古来から日本人が大切にしてきた農と食」と題して講演。



開会を告げる太鼓を打つ由井大会長



京都・西陣織会館に200名近い参加者がつめかけた

「自然農の洞爺農場でハーブと自家採種で農業を行っている米丸輝久氏が「自然な

その後、事例発表が3名の実践者から行われた。最初は日本豊受自然農の洞爺農場でハーブと自家採種で農業を行っている米丸輝久氏が「自然な

事例発表3名
その後、事例発表が3名の実践者から行われた。最初は日本豊受自然農の洞爺農場でハーブと自家採種で農業を行っている米丸輝久氏が「自然な



日本豊受自然農の農業状況が報告された

「不耕起栽培への取り組み」を報告した。吉岡氏は、「自然農の素晴らしや仲間の大切さに気づいた」とも語った。

吉岡氏自身も、自然農に従事することで、自然の素晴らしや仲間の大切さに気づいた」とも語った。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

田中氏は、「レトルト食の位置づけや食料自給率」を報告した。田中氏は、「レトルト食の位置づけや食料自給率」を報告した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

田中氏は、「レトルト食の位置づけや食料自給率」を報告した。田中氏は、「レトルト食の位置づけや食料自給率」を報告した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。岩元氏は、「農の役割」と題して講演した。

品開発に取り組んだ発端は、徐々に低下していきは、東日本大震災で、長期・常温保存が可能で、安心・安全な食糧を確保するに、供給を増やすの必要がある。由井大会長が気づいたことから始まり、豊受自然農のレトルト食品は、F1種ではなく在来種で無農薬、そして食品添加物を一切使用していません。野菜本来の味と香りと食感が強いことが大きな特徴です。そして、農民達の汗と笑顔が隠し味となっています。今後は、病人や高齢者にも食を楽しんでいただくための食品開発にも取り組んでいきたい」と語った。